

The background features several purple circles of varying sizes and patterns, including solid and dotted. A thin, wavy purple line runs across the bottom of the page.

## 第4章

# 第2期倉敷みらい創生戦略

# 1 倉敷みらい創生戦略の 推進に向けて

## 戦略の構成

少子高齢化の進展や人口減少に戦略的に対応するための「第2期倉敷みらい創生戦略」は、以下に掲げる事項によって構成します。

### ● 4つの基本目標

- ① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ② 受け継がれた歴史・文化の魅力発信し、ひとを惹きつける
- ③ 安心して働ける場をつくり、多様な人材の活躍を推進する
- ④ 地域をつなぎ、安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進める

●倉敷市第七次総合計画に掲げた市の施策と基本方針(地方創生に関するもの)

●倉敷市第七次総合計画のまちづくり指標(地方創生に関するもの)

●倉敷市第七次総合計画実施計画に掲げた地方創生に関する取組

具体的な内容構成は次のとおりです。(〔 〕内は対応する基本計画の番号と該当頁を示しています)

### 基本目標① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる (141~144頁)

- ア 心豊かな人間関係を育む学校教育の充実を図る [ 1-3, 44頁 ]
- イ 安心して出産・子育てできる環境を整える [ 1-5, 48頁 ]
- ウ 子育てと仕事がつりあう環境を整える [ 1-6, 50頁 ]
- エ 学校・園、地域、家庭が連携して子どもたちを見守り、安全・安心に成長できる環境を整える [ 1-7, 52頁 ]

### 基本目標② 受け継がれた歴史・文化の魅力発信し、ひとを惹きつける (145~148頁)

- ア 文化芸術活動を振興する [ 2-1, 60頁 ]
- イ 歴史文化や伝統の保存・継承と活用を図る [ 2-2, 62頁 ]
- ウ 倉敷の魅力発信し、受入環境を整備して交流人口の増大を図る [ 2-8, 74頁 ]
- エ 歴史的・魅力的な景観の形成を推進する [ 3-11, 98頁 ]

### 基本目標③ 安心して働ける場をつくり、多様な人材の活躍を推進する (149~154頁)

- ア その人らしさが尊重され、多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる [ 1-1, 40頁 ]
- イ 一人ひとりが生涯を通して学ぶ機会を支援するとともに、その学びによる地域の活性化を推進する [ 1-9, 56頁 ]
- ウ 家庭や仕事と生活の調和がとれるよう支援する [ 2-4, 66頁 ]
- エ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小した経済を早期に復興するため、産業競争力の強化と地場産業の振興、雇用の確保・充実を図る [ 2-5, 68頁 ]

オ 商業振興による地域の活性化を図るとともに、新分野への進出・起業がしやすい環境を整える	[ 2-6、70頁 ]
カ 活力ある農業や漁業を守り、豊かな資源を次世代に継承する	[ 2-7、72頁 ]
キ 障がい者が社会参加でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活を支援する	[ 4-4、110頁 ]
ク 高齢者の学びや活躍の場を充実する	[ 4-8、118頁 ]

## 基本目標④

## 地域をつなぎ、安心して暮らせる 持続可能なまちづくりを進める

(155～163頁)

ア スポーツ活動を推進する	[ 2-3、64頁 ]
イ 地域の環境と経済・社会が調和した、持続可能なまちづくりを推進する	[ 3-1、78頁 ]
ウ 防災・減災意識を高め、災害に強いまちをつくる	[ 3-5、86頁 ]
エ 各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりを推進する	[ 3-8、92頁 ]
オ 地域の特色が生かされ、だれもが住みやすい生活を支援する	[ 3-10、96頁 ]
カ だれもが取り組める健康づくりを支援する	[ 4-1、104頁 ]
キ だれもが安心して利用することができる救急・医療環境を整える	[ 4-3、108頁 ]
ク 障がい者が社会参加でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活を支援する(再掲)	[ 4-4、110頁 ]
ケ 高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことのできる環境を整える	[ 4-6、114頁 ]
コ 市民自らが、地域の課題を解決できるように支援する	[ 5-1、122頁 ]
サ ボランティア・NPOなどの自律的かつ公益的な活動を促進する	[ 5-2、124頁 ]
シ 市民・企業・団体など一体となってSDGsの取組を推進する	[ 5-7、134頁 ]

## 戦略の期間

第2期倉敷みらい創生戦略は、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5か年計画とします。

## 戦略の推進体制

倉敷みらい創生戦略の推進にあたっては、市長をトップとする部局横断的な組織体制を整え、幅広い分野から意見を聴取するため市議会や各種団体などを構成員とする有識者会議を設置しています。

### ○倉敷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部

…市長を本部長とし、幹部職員を構成員とする

### ○倉敷市まち・ひと・しごと創生有識者会議

…産業界(産)、教育機関(学)、金融機関(金)、労働団体等(労)、メディア(言)、市議会及び行政を構成員とする

## 評価・検証

実施計画に掲げた地方創生に関する取組などについては、毎年度開催する「倉敷市まち・ひと・しごと創生有識者会議」等において、重点施策の効果検証を行い、Plan(計画)、Do(実施・実行)、Check(点検・評価・検証)、Action(処置・改善)のPDCAサイクルを確立します。

## 2 4つの基本目標

### ① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 合計特殊出生率

令和元(2019)年:1.56 ⇒ **令和7(2025)年:1.72**

第1期倉敷みらい創生戦略の目標値と推移

指標	基準値	現状値(推移)					目標値(R2)
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	
合計特殊出生率	1.61 (H25)	1.60 (H27)	1.64 (H28)	1.63 (H29)	1.59 (H30)	1.56 (R元)	1.77
出生者数	4,536人 (H26)	4,419人 (H27)	4,423人 (H28)	4,305人 (H29)	4,110人 (H30)	3,960人 (R元)	4,782人

### ② 受け継がれた歴史・文化の魅力<sup>ひ</sup>を発信し、ひとを惹きつける

#### 対三大都市圏との社会増減(転入者数-転出者数)

令和元(2019)年:▲863人 ⇒ **令和7(2025)年:±0人**

第1期倉敷みらい創生戦略の目標値と推移

指標	基準値	現状値(推移)					目標値(R2)
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	
対三大都市圏との社会増減 (転入者数-転出者数)	▲742人 (H26)	▲705人 (H27)	▲878人 (H28)	▲779人 (H29)	▲917人 (H30)	▲863人 (R元)	±0人
【参考】社会増減(総数)	316人 (H26)	474人 (H27)	675人 (H28)	509人 (H29)	▲84人 (H30)	923人 (R元)	—

### ③ 安心して働ける場をつくり、多様な人材の活躍を推進する

#### 市内従業者数の総数<sup>※</sup>

令和元(2019)年:157,292人 ⇒ **令和6(2024)年:159,300人**

第1期倉敷みらい創生戦略の目標値と推移

指標	基準値	現状値(推移)					目標値(R2)
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	
市民税納税義務者数 (所得割課税者数)	172,775人 (H26)	175,089人 (H27)	177,794人 (H28)	180,215人 (H29)	182,253人 (H30)	182,438人 (R元)	184,300人

※「市内従業者数の総数」の令和元年基準値は200,020人に、令和6年目標値は203,000人に再設定しています。  
(令和3年3月に設定した初期値157,292人には本社が市外にある事業所の従業者が含まれていなかったため)

### ④ 地域をつなぎ、安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進める

#### 市の人口(12月末)

令和元(2019)年:482,250人 ⇒ **令和7(2025)年:480,000人程度**

第1期倉敷みらい創生戦略の目標値と推移

指標	基準値	現状値(推移)					目標値(R2)
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	
市の人口 ※年度末の数値	483,537人 (H26)	483,547人 (H27)	483,576人 (H28)	482,790人 (H29)	481,844人 (H30)	481,542人 (R元)	487,000人

- ア 心豊かな人間関係を育む学校教育の充実を図る
- イ 安心して出産・子育てできる環境を整える
- ウ 子育てと仕事がゆとりをもって両立できる環境を整える
- エ 学校・園、地域、家庭が連携して子どもたちを見守り、安全・安心に成長できる環境を整える

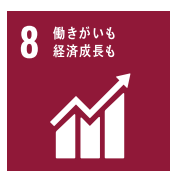
### 〈数値目標〉

#### ● 合計特殊出生率

令和元(2019)年:1.56 ⇒ **令和7(2025)年:1.72**

### ア 心豊かな人間関係を育む学校教育の充実を図る

[ 1-3、44頁 ]

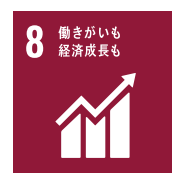


### 【基本方針】

- ★ 多様化する学習内容と子どもたち一人ひとりの習熟度に対応するとともに、主体的な学習ができる、ICT活用の環境整備、感染症などの脅威に対応できるオンライン学習の導入など情報教育の充実を図り、新しい時代に求められる子どもの資質・能力を育てます。
- ★ 教員の指導力向上やICTの活用などにより、子どもたちが広い視野をもって異文化を理解し、国際共通語とされる英語力を身につける、グローバル化に対応する教育を進めます。
- ★ 学校運営協議会制度等で、地域とともにある学校づくり、地域に根ざした特色ある教育活動の推進や校種間の連携に努め、学校・園、家庭、地域が一体となって子どもを守り育てる環境づくりを進めます。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合  
現状値 65.3%(R元) ⇒ **目標値 80%(R7)**
- ★ 学校が楽しいと思う子どもの割合  
現状値 78.0%(R元) ⇒ **目標値 90%(R7)**



## 【基本方針】

- ★ 妊娠期から子育て期における不安や悩みの軽減を図るための情報提供や相談体制を充実し、切れ目ない子育て支援環境を整えます。また、性に関する正しい知識を身につけられる機会の充実に努めます。
- ★ 地域での子育て支援の充実を図り、親子のふれあいや親同士の交流、子育ての仲間づくりを促進します。
- ★ 保育や医療、教育など、子育て家庭等の経済的負担の軽減、不妊・不育症の支援などにより、安心とゆとりをもって妊娠・出産・子育てができる環境を整えます。
- ★ 関係機関との連携を強化し、ひとり親家庭が抱える悩みや相談ごとに対応できる体制を整えます。また、生活支援や経済的支援を行い、ひとり親家庭の生活の自立と安定を図ります。
- ★ 希望する人が結婚できるよう、出会いの場の創出や相談体制の充実を図ります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

### ★ 身近に子育ての相談ができるところがあると思っている人の割合

【(1) 就学前児童の保護者】 現状値 79.9%(R元) ⇒ **目標値 82%(R7)**

【(2) 小学生の保護者】 現状値 66.6%(R元) ⇒ **目標値 70%(R7)**

### ★ 子育てを家族で協力して行っている人の割合

【(1) 就学前児童の保護者】 現状値 89.5%(R元) ⇒ **目標値 92%(R7)**

【(2) 小学生の保護者】 現状値 82.4%(R元) ⇒ **目標値 92%(R7)**

### ★ 倉敷結婚相談所を通じた結婚成立数

現状値 26組 (R元) ⇒ **目標値 170組 (R7)(R3～R7の5か年累計)**

## ウ 子育てと仕事がゆとりをもって両立できる環境を整える [ 1-6、50頁 ]



## 【基本方針】

- ★ 多様化する就学前保育・教育ニーズに応じて、地域性や年齢などを考慮しながら受入枠の拡大を図り、待機児童対策を進めます。
- ★ 頻発化する自然災害や感染症を見据えて、就学前保育・教育施設において、計画的に子どもの健康や安全確保の対策に取り組みます。
- ★ 保育の内容や方法を、社会情勢に応じた見直しを行いながら、専門家の意見を取り入れるなど保育現場職員の研修の充実により、保育の質の向上を図ります。
- ★ 働きやすい保育の場をめざした環境整備などにより、就労希望者を増やし、保育所や認定こども園等に勤務する職員の確保に努めます。
- ★ 放課後児童クラブの利用ニーズの増加に対応するため、放課後児童クラブの充実を図ります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

## ★ 保育所等の待機児童数

現状値 98人(R2) ⇒ 目標値 0人(R7)

## ★ これまで育児休業※を取得したことがある人の割合

※労働者が原則として1歳に満たない子を養育するための休業のことです。  
原則、子1人につき1回、連続した期間をその長短にかかわらず取得できます。

【(1) 就学前児童の父親】 現状値 7.9%(R元) ⇒ 目標値 20%(R7)

【(2) 就学前児童の母親】 現状値 79.3%(R元) ⇒ 目標値 91%(R7)



## 【基本方針】

- ★ 学校・園、地域、家庭が連携する子育て支援のネットワークづくり、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進めます。
- ★ 学校や地域の活動のなかで、子どもたちが地域の歴史・文化を学んだりスポーツを楽しんだりする機会を増やして、子ども同士や地域住民との交流を深め、子どもの社会性を身につける健やかな学びと成長を支えます。
- ★ 学校・園を支援する地域のボランティアやコーディネーターを育成・支援し、地域で子どもたちが安心して生活できる環境づくりに努めます。
- ★ 様々な困難を抱える家庭の子どもが将来の夢や希望をもち、成長段階に応じた支援ができるよう、家庭に寄り添い、福祉や教育、地域が協働し支える体制をつくります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

### ★ 様々な場面で困った時に相談できる相手がいる保護者の割合

【(1) 就学前児童の保護者】 現状値 92.2%(R元) ⇒ 目標値 95%(R7)

【(2) 小学生の保護者】 現状値 85.0%(R元) ⇒ 目標値 90%(R7)

### ★ 学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの数

現状値 269,474人(R元) ⇒ 目標値 286,000人(R7)

### ★ 地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合

【(1) 就学前児童の保護者】 現状値 44.7%(R元) ⇒ 目標値 47%(R7)

【(2) 小学生の保護者】 現状値 50.0%(R元) ⇒ 目標値 55%(R7)

### ★ 子どもと将来の夢や目標について家庭で話をする小学生の保護者の割合

現状値 86.2%(R元) ⇒ 目標値 90%(R7)



## 基本目標

②

## 受け継がれた歴史・文化の魅力を発信し、ひとを惹きつける

- ア 文化芸術活動を振興する
- イ 歴史文化や伝統の保存・継承と活用を図る
- ウ 倉敷の魅力を発信し、受入環境を整備して交流人口の増大を図る
- エ 歴史的・魅力的な景観の形成を推進する

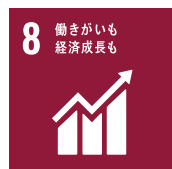
## 〈数値目標〉

## ● 対三大都市圏との社会増減（転入者数－転出者数）

令和元（2019）年：▲863人 ⇒ 令和7（2025）年：±0人

## ア 文化芸術活動を振興する

[ 2-1、60頁 ]



## 【基本方針】

- ★ 各世代の関心やニーズを踏まえ、子どもから高齢者まで多くの市民に、様々なジャンルの優れた文化芸術に親しむ機会を提供することに努めます。
- ★ 市民が身近に文化活動に参加・発表することのできる環境づくりを進めるとともに、文化芸術団体の活動や団体相互間の交流を促進し、文化が育まれる環境づくりを進めます。
- ★ 個々の特性を踏まえて文化施設のあり方を検討するとともに、施設機能・設備の充実により、利用しやすい施設としての運営に努めます。
- ★ 文化芸術に関する情報を収集し、多様な広報媒体による、多言語化も含めたタイムリーで、わかりやすい積極的な情報発信に努めます。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

★ 生活の中で文化的活動（鑑賞と実践のどちらでも可）を行っている人の割合  
現状値 30.5%(R元) ⇒ 目標値 40%(R7)

★ 文化施設の利用者数  
現状値 450,793人(R元) ⇒ 目標値 645,000人(R7)



## 【基本方針】

- ★ 地域の歴史的な魅力や特色、後世に語り継がれる文化や伝統、そして本市の日本遺産を広く発信するとともに、その活用による地域活性化を図ります。
- ★ 郷土の偉人の研究・顕彰、地域に根ざした文化活動を支援するとともに、その担い手の育成につなげるため、啓発活動や、子どもたちをはじめとして市民が文化財に関わる機会の提供により、地域への愛着と誇りを醸成します。
- ★ 地域の協力のもと、地域に埋もれている文化財の調査を進め、先人達が残した貴重な文化財を後世に引き継ぎます。
- ★ 文化財に関する資料、公文書や古文書などの歴史資料や情報を、市民がより利用しやすくなるよう収集・公開に努めます。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 後世に伝えたい歴史文化や伝統が継承されていると思っている人の割合  
現状値 57.8%(R元) ⇒ 目標値 62%(R7)
- ★ 子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがある人の割合  
現状値 65.3%(R元) ⇒ 目標値 73%(R7)

## ウ 倉敷の魅力発信し、受入環境を整備して交流人口の増大を図る [2-8、74頁]



## 【基本方針】

- ★ 多様な情報媒体を効果的に活用し、市の魅力を国内外へ積極的に情報発信します。
- ★ 二次交通の充実など、周遊性を高める観光インフラの整備を推進します。
- ★ 多様化する観光客のニーズや特性を捉え、市全域にひろがる日本遺産の物語も活用し、様々な観点からの観光資源の創出や観光イベントの魅力向上を図り、観光客数と観光消費額の増加をめざします。
- ★ 高梁川流域圏の観光力の強化を図るとともに、新たな地域との連携など更なる広域連携の推進により、周遊性を高めます。
- ★ コンベンション、文化芸術、スポーツなどのイベントを活用した誘客や、オンラインなども含めた国内外の旅行博や商談会への出展等による誘致活動の強化を図ります。また、新型コロナウイルス感染症の流行下においては県内・近県へのプロモーションを強化するとともに、収束後の外国人観光客の誘客に向け、東アジアやヨーロッパ圏などの現地での情報発信を強化します。
- ★ 観光客のニーズや特性を踏まえ、災害時の安全確保や多言語対応、新しい生活様式への対応など、外国人を含めた観光客の受入体制の充実を図ります。
- ★ 活力あふれ、持続可能なまちづくりを実現するため、移住定住を促進します。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 市内主要観光地の観光客数  
現状値 5,208千人(R元) ⇒ 目標値 5,800千人(R7)
- ★ 市内宿泊客数  
現状値 949千人(R元) ⇒ 目標値 1,100千人(R7)
- ★ シティセールス・観光・日本遺産関連ウェブサイトへの訪問回数  
(セッション数)と、シティセールス・観光関連フェイスブックの投稿が届いた人数(リーチ数)の合計  
現状値 4,340,259件(R元) ⇒ 目標値 4,578,000件(R7)
- ★ シティセールスに関するタグづけをされている投稿回数  
現状値 9,200回(R元) ⇒ 目標値 33,200回(R7)  
(R3～R7の5か年累計)
- ★ 移住促進施策を通じた移住世帯数  
現状値 20世帯(R元) ⇒ 目標値 120世帯(R7)  
(R3～R7の5か年累計)



## 【基本方針】

- ★ 伝統的建造物群保存地区などの建物の保存や修理などへの支援を継続して行うとともに、市民の意識を高めて、歴史ある町並みや景観の保存に努めます。
- ★ 景観づくりに関する市民や事業者の参加意識の醸成を図り、市民団体の活動を支援するとともに、空き家などの活用も含めた景観保全を進めます。
- ★ 本市のこれまで培ってきた自然、歴史・文化、市街地などに区分した類型別の方針のもと、地域それぞれの貴重な景観資源を守り、地域の特性を生かした良好な景観形成を推進します。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 歴史的・魅力的な景観が保全されていると感じている人の割合  
現状値 48.8%(R元) ⇒ 目標値 53%(R7)
- ★ 倉敷市の景観がよくなったと感じている人の割合  
現状値 35.8%(R元) ⇒ 目標値 42%(R7)
- ★ 倉敷市の景観をよくする取組に関わりたいと思う人の割合  
現状値 44.1%(R元) ⇒ 目標値 50%(R7)

# 安心して働ける場をつくり、 多様な人材の活躍を推進する

- ア その人らしさが尊重され、多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる
- イ 一人ひとりが生涯を通して行う学びを支援するとともに、その学びによる地域の活性化を推進する
- ウ 家庭や仕事と生活の調和がとれるよう支援する
- エ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小した経済を早期に復興するため、産業競争力の強化と地場産業の振興、雇用の確保・充実を図る
- オ 商業振興による地域の活性化を図るとともに、新分野への進出・起業がしやすい環境を整える
- カ 活力ある農業や漁業を守り、豊かな資源を次世代に継承する
- キ 障がい者が社会参加でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活を支援する
- ク 高齢者の学びや活躍の場を充実する

## 〈数値目標〉

### ● 市内従業者数の総数

令和元(2019)年:157,292人 ⇒ **令和6(2024)年:159,300人**

ア その人らしさが尊重され、多様な価値観や生き方を認め合い、  
人権が守られる社会をつくる

[ 1-1、40頁 ]



## 【基本方針】

- ★ だれもが互いに人権を尊重しつつ、家庭や社会において責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の更なる実現をめざします。
- ★ 国際交流事業の継続と拡充により、互いの文化や習慣の相互理解に努めるとともに、多言語による情報発信や相談体制の充実を図り、在住外国人が地域社会で参画・活躍できる多文化共生のまちづくりを進めます。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

### ★ 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合

現状値 51.6%(R元) ⇒ **目標値 63%(R7)**

### ★ 地域社会の一員として生活できていると感じている外国人の割合

現状値 43.0%(R元) ⇒ **目標値 50%(R7)**

## イ 一人ひとりが生涯を通して行う学びを支援するとともに、その学びによる地域の活性化を推進する

[ 1-9、56頁 ]



### 【基本方針】

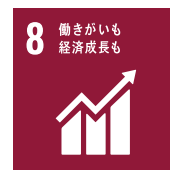
- ★ 長期ひきこもりなど社会的に孤立し、自立に困難を抱えている若者などへの学習機会を提供して、関係機関と連携して支援し、社会参加や就労につなげていきます。
- ★ 大学などの高等教育機関や企業、また市や公的機関などの連携により、様々な専門的な分野において、気軽な学びの機会を提供し、積極的な情報発信を行うとともに、地元大学等の更なる活性化を図ります。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 倉敷市役所でのインターンシップ受入人数  
現状値 47人(R元) ⇒ 目標値 62人(R7)

## ウ 家庭や仕事と生活の調和がとれるよう支援する

[ 2-4、66頁 ]



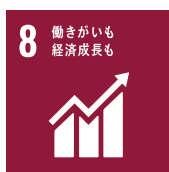
### 【基本方針】

- ★ 女性をはじめとした多様な人材が、自分の意志で生き方を選択し社会のあらゆる分野に参画し活躍していくために、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現した社会をめざします。
- ★ 働く人と企業の双方に理解を深めるための情報発信や啓発を推進するとともに、児童・生徒に対して働き方についての意識醸成を図る教育を行い、仕事と生活の調和を考慮した働き方改革への理解を深めます。
- ★ 就労時間や就労場所に柔軟に対応できる労働環境、多様な就労形態を選択できる環境の整備を促進します。
- ★ ハラスメントや障がいのある人、性的少数者、外国人に対する不当な差別の防止など、働く場での人権問題に対して一層の啓発を図るとともに、積極的に改善に取り組む企業を支援します。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 自分や家庭の事情に合った働き方ができていると思っている人の割合  
現状値 73.2%(R元) ⇒ 目標値 82%(R7)
- ★ 余暇時間を有意義に過ごすことができていると思っている人の割合  
現状値 60.6%(R元) ⇒ 目標値 65%(R7)
- ★ 働いている職場が、子育てに対する理解があると思っている人の割合  
現状値 66.1%(R元) ⇒ 目標値 70%(R7)

エ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小した経済を早期に復興するため、産業競争力の強化と地場産業の振興、雇用の確保・充実を図る [ 2-5、68頁 ]



## 【基本方針】

- ★ 国・県・民と連携して、水島コンビナートの重要な物流拠点であり、中四国を中心とした西日本の物流のハブとなる水島港の整備を促進し、競争力強化を図ります。
- ★ 水島コンビナートの高効率化、高付加価値化、脱炭素化を進めるとともに、企業の研究開発や新規事業創出に向けた取組などを支援し、アジア有数の競争力をもつコンビナートとしての持続的発展をめざします。
- ★ 次世代産業技術を学ぶ人材が活躍できるよう、イノベーション分野を含めた、地域への経済波及効果の高い企業の誘致・育成に取り組み、持続的な産業力の強化を進めます。
- ★ 繊維などの地場産業や、伝統分野における技術を継承するため、地域資源の魅力発信を行うとともに商品開発や販路開拓を支援し、競争力を強化することで次世代の人材確保に努めます。
- ★ 市の経済と雇用の基盤を支える中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた経営体質の健全化、経営基盤の強化、競争力強化、事業承継などの取組を支援します。
- ★ 中小企業・小規模事業者について、危機発生時の事業継続の取組を支援します。
- ★ 労働力人口の減少が進むなか、就労意欲と能力をもつ人材の就労促進、潜在的労働力の確保を進め、雇用の確保・創出による労働力の安定を図ります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 自分の仕事にやりがいを感じている人の割合  
現状値 69.3%(R元) ⇒ 目標値 75%(R7)
- ★ 市内製造業粗付加価値額  
現状値 6,420億円(H30) ⇒ 目標値 6,495億円(R6)
- ★ 市内高等教育機関(大学・短期大学等)卒業生の市内就職率  
現状値 21.9%(R元) ⇒ 目標値 24%(R7)
- ★ 市内情報通信業売上  
現状値 89.2億円(H28) ⇒ 目標値 108.5億円(R3)

オ 商業振興による地域の活性化を図るとともに、  
新分野への進出・起業がしやすい環境を整える

[ 2-6、70頁 ]



## 【基本方針】

- ★ 市中心部において、JR倉敷駅を中心とした南北の回遊性向上による一体化を促進し、更なる賑わいと活力の創出を図ります。
- ★ 地域の消費や雇用を支えるとともに、まちの拠点や地域コミュニティ形成として重要な商店街の活性化を図ります。
- ★ 経済情勢や社会情勢を踏まえ、感染症などの新たな課題に対応し、事業者が自らの強みを生かしていく多種多様な取組を支援します。
- ★ 起業を地域経済の活性化にとって重要な経済活動と捉え、起業を志す人を継続して支援し、起業機運を醸成します。
- ★ 次代の先端技術や地域資源・特産品の活用、農商工連携の促進などにより、新商品・新技術の開発につなげ、新たなビジネスの創出を図ります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 商店街の休日1日当たりの歩行者・自転車通行量  
現状値 40,129人(R元) ⇒ 目標値 43,000人(R7)
- ★ 創業サポートセンターを活用した創業件数  
現状値 353件(R元) ⇒ 目標値 375件(R7)
- ★ 商業年間商品販売額  
現状値 1,047,738百万円(H28) ⇒ 目標値 1,100,125百万円(R3)



## カ 活力ある農業や漁業を守り、 豊かな資源を次世代に継承する

[ 2-7、72頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 農業が魅力とやりがいのあるものとなるよう、生産基盤の拡充を図り、担い手の確保・育成に努めて、効率的かつ安定的な農業経営の育成を図ります。
- ★ 農地を維持しつつ地域農業の持続的発展を図るため、農地の集積・集約化を進めます。
- ★ 水田の効率的活用や高収益作物への転換を図るとともに、6次産業化への支援などにより、農業所得向上につなげます。
- ★ 農産物の供給力を強化するとともに品質を均等に高める取組を進め、市特産の農産物のブランド力の維持・強化を図ります。
- ★ 消費者が地元農林水産物を消費できる機会を増やし、地産地消に対する市民の理解を深めて、消費拡大を図ります。
- ★ つくり育てる漁業を推進し、水産資源の維持・増大に努めるとともに、新規就業者の確保と漁業施設の近代化を図り、漁獲物の商品価値向上と漁業経営の安定化をめざします。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 新規就農者数  
現状値 15人(R元) ⇒ 目標値 60人(R7)(R3～R7の5か年累計)
- ★ 担い手の農地利用集積率  
現状値 21.3%(R元) ⇒ 目標値 32.1%(R7)
- ★ 漁業所得  
現状値 405万円(R元) ⇒ 目標値 453万円(R7)

## キ 障がい者が社会参加でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活を支援する

[ 4-4、110頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 一般就労が困難な障がい者にとって、重要な役割を担っている福祉的就労を行う事業所・作業所への支援を強化し、職業訓練に関する情報提供を充実させるなど、障がい者の就労訓練の場の充実を図ります。
- ★ 障がい者が障がいの状況に応じた多様な形態での勤務ができるよう、企業や事業所に一層の理解協力を求めるなど、障がい者の就労定着をめざします。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 社会参加できていると思う障がい者の割合  
現状値 22.3%(H30) ⇒ 目標値 27%(R7)
- ★ 一般企業の障がい者雇用率  
現状値 2.77%(R元) ⇒ 目標値 2.87%(R7)

## ク 高齢者の学びや活躍の場を充実する

[ 4-8、118頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 高齢者が気軽に集い、仲間との出会い、交流の機会や異世代との交流が図られるよう、ふれあいの場の更なる推進によって、高齢者の孤独感や閉じこもりの解消に努めます。
- ★ 社会活動や地域活動、就業活動への参加を促進し、高齢者の活躍の場を広げる取組を充実します。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ シルバー人材センター会員数  
現状値 1,529人(R元) ⇒ 目標値 1,750人(R7)
- ★ 社会参加※している高齢者の割合  
※社会参加の例…ボランティア、スポーツや趣味、グループ、学習活動、ふれあいサロンなど通いの場、老人クラブ、町内会・自治会、仕事など  
現状値 30.3%(R元) ⇒ 目標値 60%(R7)

## 基本目標

④

地域をつなぎ、安心して暮らせる  
持続可能なまちづくりを進める

- ア スポーツ活動を推進する
- イ 地域の環境と経済・社会が調和した、持続可能なまちづくりを推進する
- ウ 防災・減災意識を高め、災害に強いまちをつくる
- エ 各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりを推進する
- オ 地域の特色が生かされ、だれもが住みやすい生活を支援する
- カ だれもが取り組める健康づくりを支援する
- キ だれもが安心して利用することができる救急・医療環境を整える
- ク 障がい者が社会参加でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活を支援する(再掲)
- ケ 高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことのできる環境を整える
- コ 市民自らが、地域の課題を解決できるように支援する
- サ ボランティア・NPOなどの自立的かつ公益的な活動を促進する
- シ 市民・企業・団体など一体となってSDGsの取組を推進する

## 〈数値目標〉

## ● 市の人口(12月末)

令和元(2019)年:482,250人 ⇒ **令和7(2025)年:480,000人程度**

## ア スポーツ活動を推進する

[ 2-3、64頁 ]



## 【基本方針】

- ★ 市民のだれもが、体力や年齢などに応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現をめざします。
- ★ スポーツを通じて、人と人、地域と地域の交流を促進し、活力ある絆の強い地域社会の実現と地域経済の活性化につなげます。
- ★ 施設の長寿命化などにより、だれもが身近に、気軽に、そして安全にスポーツに親しむことができる環境整備を図ります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

## ★ 週1回以上スポーツをしている成人の割合

現状値 42.9%(R元) ⇒ **目標値 50%(R7)**

## ★ 倉敷市スポーツ情報サイト「Kurashiki Sports Navi」の閲覧数

現状値 438,581件(R元) ⇒ **目標値 700,000件(R7)**

## イ 地域の環境と経済・社会が調和した、 持続可能なまちづくりを推進する

[ 3-1、78頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 自然とふれあえる場を整え、機会を提供するなど、自然とのふれあいを促進するとともに、多くの市民が身近なところで、環境学習や環境活動の場や機会が得られるよう充実を図ります。
- ★ まちの緑化を推進し、潤いと安らぎのある生活空間の充実を図ります。
- ★ 環境をよくすることが経済・社会を発展させ、地域が活性化することによって環境もよくなるといった環境と経済・社会の好循環の創出に努めます。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 環境学習満足度  
現状値 88.9%(R元) ⇒ 目標値 90.5%(R7)
- ★ 身近なところで、生き物(動物、昆虫や植物など)にふれあえる場や機会(イベントを含む)があると思う人の割合  
現状値 32.8%(R2) ⇒ 目標値 38%(R7)
- ★ 身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合  
現状値 35.1%(R元) ⇒ 目標値 37.1%(R7)



## 【基本方針】

- ★ 平成30年7月豪雨災害からの1日も早い復興に取り組むとともに、災害での経験を踏まえ、行政と市民、企業などが連携して、将来の災害に備えるための防災・減災対策に努め、市全体の防災力の向上をめざします。
- ★ 国や県と連携し、河川や水路及び排水機場の改修や急傾斜地の対策を行うとともに、総合的な浸水対策を推進し、避難場所となる公共施設の防災機能の充実、無電柱化の推進、公共施設や住宅等建築物及び大規模盛土造成地の耐震化の推進など、災害に強いまちづくりを進めます。
- ★ 消防体制や、備蓄・配送などの防災拠点の充実を図ることで、災害発生時の的確で迅速な対応をめざし、市民が安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- ★ 「自助」「共助」「公助」の防災理念のもと、防災訓練や防災教育などを通じて、市民の更なる防災・減災意識や知識の向上を図ります。  
市民一人ひとりが災害に備え、まずは自分の命を守る「自助」の意識を高めるとともに、近隣や地域において市民が助け合い、かつ、支え合う「共助」の取組に参加します。
- ★ 市民に防災情報を迅速かつ的確に知らせるとともに、災害時の情報を集約して的確な判断ができるように災害対応機能の充実強化を図り、防災力の向上をめざします。
- ★ 災害時における鉄道輸送の経路を維持することで、安全・安心に人や物が輸送できるまちをめざします。
- ★ 新たな感染症や、大規模災害などの緊急時に市民の健康被害が最小限に抑えられるよう、健康危機管理体制の強化を図ります。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 自主防災組織カバー率  
現状値 73.3%(R元) ⇒ 目標値 90%(R7)
- ★ 地区防災計画の取組件数  
現状値 14件(R元) ⇒ 目標値 150件(R7)
- ★ 災害発生時のために、日頃から家族で備えをしている人の割合  
現状値 58.3%(R元) ⇒ 目標値 90%(R7)
- ★ 防災訓練や防災教育の実施件数  
現状値 109件(R元) ⇒ 目標値 300件(R7)

## エ 各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりを推進する [ 3-8、92頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 各地域・地区の拠点の役割に応じた都市機能の集積強化や官民連携での土地の有効活用などを図ることにより、暮らしを支え、活気を生み出す魅力的な市街地を形成します。
- ★ 国道2号や主要地方道、都市計画道路などの幹線道路網の整備を進め、拠点間相互の連携により、まち全体としての総合力を強化します。
- ★ 市中心部の都市基盤整備を推進するとともに、地域の実情に応じた市街地整備を図ります。また、まちなかを車中心からひと中心の魅力ある空間へと転換していきます。
- ★ 倉敷駅付近の鉄道を連続して高架化し、交通円滑化を図るとともに、安全性や防災性の向上、市街地の分断解消を図ることにより、市中心部の拠点性を高めます。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 倉敷駅を中心とする中心市街地における歩行者・自転車通行量  
現状値 116,656人(R元) ⇒ 目標値 124,000人(R7)
- ★ 自分の住んでいる地域に魅力があると感じている人の割合  
現状値 35.2%(R元) ⇒ 目標値 49%(R7)

## オ 地域の特色が生かされ、だれもが住みやすい生活を支援する [ 3-10、96頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 市内全域での活性化を推進するため、まちづくりに取り組む組織への支援を行い、各地域の個性や魅力、資源などを生かしつつ、それぞれの実情に応じたまちづくりを進めます。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 現在住んでいるところが住みやすいと感じている人の割合  
現状値 57.5%(R元) ⇒ 目標値 64%(R7)
- ★ 地域の歴史やまちづくりに関心をもっている人の割合  
現状値 33.9%(R元) ⇒ 目標値 48%(R7)

## カ だれもが取り組める健康づくりを支援する

[ 4-1、104頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 広報活動の強化や未受診者への働きかけなどにより、各種健康診査の充実や、受診の重要性の周知徹底を図り、健康管理の支援によって、市民の生活習慣の見直しや病気の早期発見と治療、健康寿命の延伸につなげます。
- ★ 新たな感染症の出現やその感染症に対する新たな予防法など、的確な情報が効果的に提供できる体制づくりを進め、予防接種の勧奨なども含めた感染症予防の普及啓発によって、予防対策を進めます。
- ★ 健康づくりボランティアの地域での活動支援や、企業との協働による職場での健康づくりの支援によって、生活習慣病に関する知識の普及啓発や健康教育、健康づくり活動の機会を充実し、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを促進します。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

#### ★ 健康寿命

現状値 男性79.9歳 女性83.9歳(R元) ⇒ 目標値 現状より延伸(R7)

## キ だれもが安心して利用することができる 救急・医療環境を整える

[ 4-3、108頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 新たな感染症や大規模災害などの非常時に備えて健康危機管理体制の強化を図り、平常時から自分の健康を守るための意識啓発を行うとともに、適切な受診行動につながるよう正確な情報の発信・伝達に努めます。

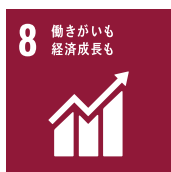
### 【重要業績評価指標】(KPI)

#### ★ 身近にかかりつけ医がいる人の割合

現状値 70.3%(R元) ⇒ 目標値 75%(R7)

## ク 障がい者が社会参加でき、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活を支援する(再掲)

[ 4-4、110頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 障がい者やその養護者への理解を広げる周知・啓発活動に努めるとともに、障がい者への虐待防止、養護者に対する相談支援体制を強化し、すべての障がい者が人権を護られ、安心して暮らすことのできるまちをめざします。
- ★ 医療機関や入所施設から地域生活への移行を促進するために、居宅介護の支援や、生活の場のひとつとして有効なサービスであるグループホームの充実を図るなど、希望する障がい者が地域で生活できる環境づくりを進めます。

### 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 障がい福祉サービスにより地域全体で支えられていると思っている障がい者や家族の割合  
現状値 22.5%(H30) ⇒ 目標値 27%(R7)

## ケ 高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことのできる環境を整える

[ 4-6、114頁 ]



### 【基本方針】

- ★ 高齢者の実態を把握し、専門的な介護予防プログラムの実施や地域での介護予防の普及啓発を図り、一人ひとりの高齢者の心身の状態や生活環境などに応じた総合的な介護予防を推進します。
- ★ 認知症に対する理解の促進や予防・早期発見のための知識の普及を図るとともに、認知症早期から本人や家族を支援するなどサポート体制の整備を進め、認知症のある人が地域で安心して幸せに暮らせることをめざします。
- ★ 地域で暮らす高齢者への支援を強化し、市民、団体などの協力のもと、地域全体で高齢者を見守り支えるネットワークを構築します。
- ★ 在宅医療・介護の連携強化を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して医療や介護を受けられる環境づくりを進めます。



## 【重要業績評価指標】(KPI)

### ★ 高齢者支援センターの相談件数

現状値 101,230件 (R元) ⇒ 目標値 102,500件 (R7)

### ★ 認知症サポーター養成講座受講者数

現状値 3,723人 (R元) ⇒ 目標値 4,000人 (R7)

## コ 市民自らが、地域の課題を解決できるように支援する [ 5-1、122頁 ]



## 【基本方針】

- ★ 地域の活動主体であるコミュニティの意見を把握してニーズにあった支援を行い、地域のつながりを維持して支え合いによる安全・安心な暮らしを守ります。
- ★ コミュニティ活動の情報を発信するとともに、コミュニティ意識の高揚に努め、若い世代をはじめとした、様々な世代の人が気軽に地域の輪に入っていける地域づくりを進めます。
- ★ コミュニティ間の情報交換を行うなど、相互に連携する機会の創出に努め、ネットワークを構築してコミュニティ活動の一層の拡大を支援します。
- ★ 市民自らが主体的に地域の課題解決に取り組むコミュニティ活動に対する支援や、コミュニティ活動の拠点となる施設や設備に対する支援を続けます。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

### ★ 地域やコミュニティの中で、困っているときに相談できる人がいると思っている人の割合

現状値 48.4%(R元) ⇒ 目標値 55%(R7)

### ★ 地域の課題に対して、自分たちでできることは地域コミュニティで解決しようと考えている人の割合

現状値 52.3%(R元) ⇒ 目標値 60%(R7)



## 【基本方針】

- ★ 人材確保と育成のための研修の充実など、組織的な基盤強化に向けた支援の仕組みづくりを進め、市民活動団体が自立的に安定して活動を継続できるよう努めます。
- ★ 公益的な事業に取り組む団体の活動基盤の強化に向けての支援や、大学や企業なども含め、市民活動団体や個人が、容易に情報共有や連携が行える環境整備を促進します。
- ★ ボランティア・NPO活動参加への気運を盛り上げ、市民活動団体や個人がその特性を生かした、様々なまちづくりの活動に取り組むきっかけづくりを進めます。
- ★ 市役所での市民協働の推進体制を整えることで、ボランティアやNPOなどと行政がともに公共的な役割を担う「支え合いと活気のある社会」の実現をめざします。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

### ★ 市民活動団体と協働で実施された事業数

現状値 令和3年度調査開始 ⇒ 目標値 調査後設定 (R7)

### ★ 地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと考えている人の割合

現状値 46.0%(R元) ⇒ 目標値 55%(R7)

## シ 市民・企業・団体など一体となってSDGsの取組を推進する [5-7、134頁]



## 【基本方針】

- ★ 研修や講演会などを通じて、SDGsの理解促進に努めるとともに、SDGsに取り組む団体・企業などの活動状況を紹介し、団体間の交流を促進するなど、SDGs推進の機運の醸成を図ります。
- ★ 倉敷子どもサミットなどの機会を通じて、子どもたちが、「倉敷宣言」にも記されている、質の高い教育を世界のだれもが受けることの大切さを学び、SDGsへの理解につながるよう、取組を推進します。
- ★ 地域の課題を解決し、まちづくりの様々な施策を効果的に進めるため、市民協働、官民連携において、SDGsを共通言語として取組の目的の明確化や相互理解につなげます。
- ★ 高梁川の恵みを共有する自治体間の連携により、圏域全体の経済成長や生活サービスの向上などに取り組み、将来にわたって安心・快適に生活できる持続可能な圏域づくりを進めます。

## 【重要業績評価指標】(KPI)

- ★ 倉敷市・高梁川流域SDGsパートナーの登録数  
現状値 令和3年度開始 ⇒ 目標値 150件(R7)